

日時 6月18日(日)10時30分～16時30分
(10時開場予定)

会場 特別展示館、本館エントランスホール
※申込不要、参加無料(展示をご覧になる方は、展示観覧券が必要です)

お問い合わせ先
企画課「音楽の祭日」担当
06・6878・8210

連続講座

「みんなく×ナレッジキャピタル
ピース——つなぐ・かざる・みせる」

特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」
に関連した連続講座を行います。ピースは、およそ10万年前にはじめてつくられたといわれ、世界各地にみられるものです。今回は、みんなくのフィールドワーカーが、ピースと人とのかわりについて具体的に紹介します(全4回)。

主催 国立民族学博物館

一般社団法人ナレッジキャピタル

アイヌとガラス玉の交易

日時 5月10日(水)19時～20時30分
(18時30分開場)

会場 グランフロント大阪北館1階

ナレッジキャピタル「カフェアボ」

講師 齋藤玲子(本館准教授)

※要事前申込、参加費500円(1ドリンク付き)、定員50名

ピースの魅力——みんなく展示ツアー

日時 5月21日(日)13時30分～15時
(13時受付)

会場 特別展示館

講師 池谷和信(本館教授)

※要事前申込、要展示観覧券(団体料金)、定員30名

お問い合わせ先
一般社団法人ナレッジキャピタル
06・63372・6530

カレッジシアター
「地球探究紀行」

開館40周年にちなみ、本館展示の地域区分(12地域ごと)に、地球に暮らす人びとの多様な営みを紹介します。

時間 13時～14時30分

会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」

※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費1000円、定員各回50名

主催 産経新聞社

共催 近鉄文化サロン、スペース9

特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団

5月10日(水)

マヤ民族とフェアトレード・チョコレート

講師 鈴木紀(本館准教授)

5月24日(水)

イタリアの家族と結婚

講師 宇田川妙子(本館准教授)

お申し込み・お問い合わせ先

ウエブ産経カレッジシアター係

06・66333・9087

●国際博物館の日記念事業

国際博物館の日を記念して、5月20日(土)にご来館いただいた方から先着1000名様にトータルボールえんひつをプレゼントいたします。

●小・中学生の観覧無料化について

開館40周年を記念し、4月1日(土)より中学生以下は観覧料が無料となりました。

●みんなく無料シャトルバスのご案内

大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの間直通無料送迎バスを特別展「ピース——つなぐ・かざる・みせる」の会期中に運行します。

運行日 6月6日(火)までの土曜・日曜・祝日

1日11往復、所要時間10分、無料

運休日 平日、5月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)

※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に連休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

時	06	36
10	06	36
11	06	36
12		46
13	16	46
14	26	56
15	26	56
16		
17		

時	00	30
10		50
11	20	
12	30	
13	00	30
14	10	40
15	10	40
16	30	
17	00	

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

訃報 大丸弘名誉教授

本館の大丸弘名誉教授(八四歳)がさる三月一七日に逝去されました。一九七九年から九六年の本館在職中、中国地域の文化展示の基礎となる資料をはじめ、多くの資料の収集・整理に尽力され、また図書館機能向上にも貢献されました。服飾研究の第一人者として、日本と西欧の衣文化を比較研究され、その成果は『日本人のすがたと暮らし』(三元社、二〇一六年)などの著書のほか、本館公開中の「身装画像データベース(近代日本の身装文化)」等計四件のデータのデータベース構築に対し関西データベース協議会奨励賞を授与されています。謹んでお悔やみ申し上げます。

みんなくゼミナール

時間 13時30分～15時(13時開場)

会場 本館講堂

定員 450名(当日先着順)

参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)

第468回(5月20日(土))

心地よい暮らし(エイジング・イン・プレイス)

講師 鈴木七美(本館教授)

高齢者をはじめゆめ人びとが孤立せず心地よく生活できる地域「コミュニティデザイン」のキーワードとして注目されている「エイジング・イン・プレイス」について、コミュニティに生きる意味を問い続けてきた米國アーミッシュたちの暮らしから考えます。



スーパーマーケットで出会ったアーミッシュたちの馬車(インディアナ州シブシェワナ)

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と話す

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。

5月7日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば

華僑の移住と暮らし——タヒチ

話者 河合洋尚(本館准教授)

5月14日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば

豊かな高齢者とナラティブ

話者 鈴木七美(本館教授)

5月21日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば

マランガン儀礼と彫刻

——ジョージ・マフワン・コレクションから

話者 林勲男(本館教授)

5月28日(日)14時30分～15時 東南アジア展示場

新しい東南アジア展示場ができるまで

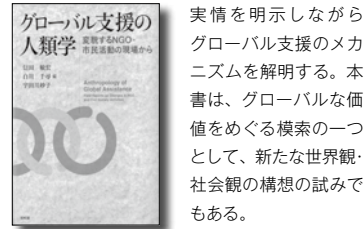
——生業と寺院を中心に

話者 平井京之介(本館教授)

■信田敏宏、白川千尋、宇田川妙子 編
『グローバル支援の人類学

——変貌するNGO・市民活動の現場から』
昭和堂 3,700円(税別)

人はなぜ、遠くの地に暮らす他者に手を差し伸べるのか? その歴史的な背景や世界各地での

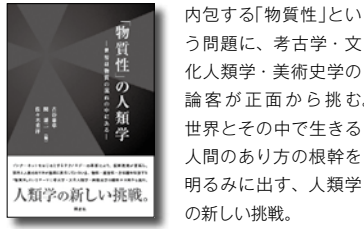


実情を明示しながら、グローバル支援のメカニズムを解明する。本書は、グローバルな価値をめぐる模索の一つとして、新たな世界観・社会観の構想の試みでもある。

■古谷嘉章、関雄二、佐々木重洋 編
『「物質性」の人類学

——世界は物質の流れの中にある』
同成社 5,000円(税別)

仮想現実が蔓延し、世界と人間のあり方が急速に変化しているいま、物性・感覚性・存在論を



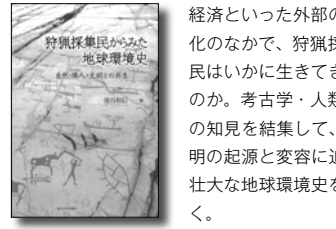
内包する「物質性」という問題に、考古学・文化人類学・美術史学の論客が正面から挑む。世界との中で生きる人間のあり方の根幹を明るみに出す、人類学の新しい挑戦。

刊行物紹介

■池谷和信 編
『狩猟採集民からみた地球環境史

——自然・隣人・文明との共生』
東京大学出版会 5,800円(税別)

数百万年という人類史のほとんどで、私たちは狩猟採集民だった。農耕民、国家や宗教、市場



経済といった外部の変化のなかで、狩猟採集民はいかに生きてきたのか。考古学・人類学の知見を結集して、文明の起源と変容に迫り、壮大な地球環境史を描く。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)

※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般5000円

第467回 6月3日(土)13時30分～14時40分

「みんなく名誉教授シリーズ

人類史のなかの遊牧

講師 松原正毅(本館名誉教授)

二〇万年におよぶ現生人類の歴史のなかで、狩猟採集で暮らした期間が大半を占めています。その意味では、言語運用能力にもとづいて成立した遊牧や農耕の生活様式は比較的新しいものといえます。これまで遊牧の起源を動物の家畜化と同一視する解釈が、おおくおこなわれてきました。実際には、遊牧の起源は、動物の家畜化に先行してみられたものと考えられます。今回の話は、遊牧の起源とともに人類史におけるその意味をとりあつかいます。

第468回 7月1日(土)

文明の転換点における博物館

講師 吉田憲司(本館館長)

東京講演会

会場 モンベル御徒町店4Fサロン

※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般5000円

第118回 5月13日(土)13時30分～14時40分

「第89回民族学研修の旅團連

モンゴル高原における遊牧民の遺産

講師 小長谷有紀(人間文化研究機構理事、本館兼任教授) モンゴル高原では古来、様々な民族が主役の座を交代しながら、遊牧文明が維持されてきました。動物を多角的に利用し、移動によって自然や社会の変化に柔軟に対応する彼らの精神を、現在に受け継ぐのがモンゴル遊牧民です。各地にのこる史跡を頼りに、平和構築に励んだ遊牧民の暮らしを考えます。

第119回 7月15日(土)13時30分～14時40分

文明の転換点における博物館

講師 吉田憲司(本館館長)

第75回体験セミナー

三次の鶴岡漁見学と広島民俗芸能を訪ねる

講師 卯田宗平(本館准教授)

日時 7月22日(土)、23日(日)